

ゴンドラ

No.11

中家文書の寄贈

大阪平野にたびたび洪水をもたらしていた大和川は、宝永元年（1704）に柏原から西へと付け替えられることになりました。この大和川付け替え関係の史料を含む中家文書は、付け替え運動の中心人物であった中甚兵衛から十代目にあたる中九兵衛さんによって、大切に保存されてきました。当館では、これまでも秋季企画展の際に中さんから借用して展示してきたところですが、中さんご自身による史料の管理・保存が難しくなったことなどから、平成22年に当館に寄託されることになりました。そこで、当館では改めて史料全点の調査を行い、『中家文書目録』（平成24年3月刊行）を作成し、企画展「中甚兵衛の生涯」を開催するとともに、平成24年3月には寄託資料全900点を柏原市の文化財に指定しました。

その後、中さんから将来のことを考えて寄贈に変更したいというありがたい申し出があり、平成25年8月に寄託資料全点が柏原市に寄贈されることになりました。中家文書には、付け替え関係の史料だけでなく、今米村の関係史料や新田開発に関わる史料、中甚兵衛顕彰関連史料などさまざまな史料を含んでいます。それらも含めて、中家に伝わって来た史料として貴重なものです。

当館では、これまでどおり秋季企画展を中心に寄贈史料を展示するほか、常設展示でもできるだけ紹介していきたいと考えています。そして、史料の保管を図るとともに、大和川付け替え前後の歴史を解明するための史料として活用していきたいと考えています。大和川の歴史には、まだまだわからないことがあります。これらの史料が、これから歴史を語ってくれることでしょう。史料の利用を希望される方は、当館まで連絡いただきたいと思います。



中甚兵衛肖像画

企画展のご案内

◎平成26年度秋季企画展「どうしてつけかえられたのだろうーほんとうの大和川つけかえ運動ー」

平成26年9月13日～12月7日

大和川の付け替えを求める運動は、どのように変化していったのでしょうか。そして、なぜ付け替えることに決まったのでしょうか。その謎に迫ってみたいと思います。

◎平成26年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」

平成27年1月6日～3月8日

毎年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。小学3年生の学習内容に合わせた展示にしています。

◎平成26年度春季企画展「亀の瀬の歴史ー大和・河内をつなぐ道ー」

平成27年3月28日～6月14日

大和と河内を結ぶ大和川は、その境に亀の瀬という難所を控えています。しかし、古代から大和川とそれに沿ってのびる竜田道は、大和と河内をつなぐ重要な道でした。その亀の瀬の古代から近代までの歴史について紹介します。王寺町などとの共催で実施します。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎休館日の変更

当館は月曜休館となっております。これまでは祝日でも月曜日は休館でしたが、今年度から祝日と重なる月曜日は開館することになりました。翌火曜日も開館します。

◎出張展示

平成26年9月23日（火）～10月8日（水） 大阪府立中央図書館1階展示コーナー

「難波より京に至る大道を置く」と題して、地形模型や解説パネルによる出張展示を行います。10月4日には、講演会も実施します。府立中央図書館、市民歴史クラブとの共催展示です。

◎史跡高井田横穴特別公開

平成26年10月18日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかっている横穴を、鍵を開けて公開します。学芸員による説明もあります。横穴公開は、毎年5月と10月の第三土曜日に実施しています。

◎体験教室

12月上旬に「しめなわづくり」、2月上旬に「わらぞうりづくり」を行います。昔ながらのつくりかたで、昔の人々の知恵を学びましょう。

◎刊行物

- ・『縄文から弥生へ』24ページ、300円。
- ・『南西尾家文書目録Ⅰ』88ページ、600円。
- ・『柏原市立歴史資料館館報』26号 88ページ、400円

企画展を終えて

★平成 25 年度秋季企画展「大和川のおいたち」

平成 25 年 9 月 24 日～12 月 8 日

観覧者数 10,589 人（個人 1,263 人、団体 9,326 人）

★平成 25 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち～ハイテクものがたり～」

平成 26 年 1 月 7 日～3 月 9 日

観覧者数 2,036 人

（個人 1,091 人、団体 945 人）

★平成 25 年度春季企画展

「柏原偉人伝 武田慎治郎」

平成 26 年 3 月 29 日～6 月 15 日

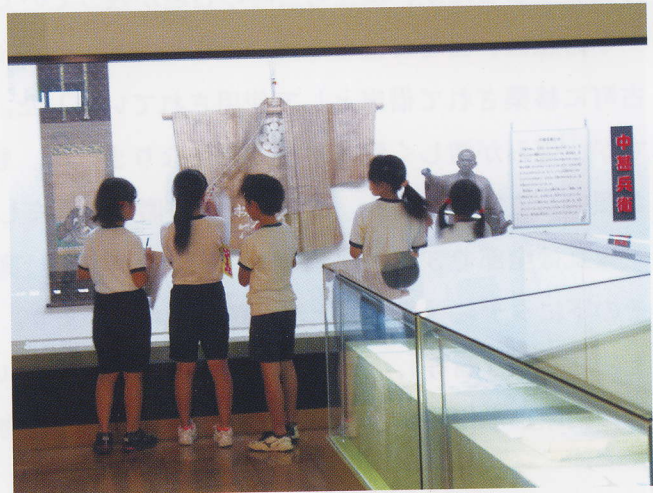
観覧者数 1,928 人

（個人 1,568 人、団体 360 人）

★平成 26 年度夏季企画展

「縄文から弥生へ」

平成 26 年 7 月 5 日～8 月 31 日



秋季企画展展示風景

指定文化財

柏原市文化財保護条例に基づいて、平成 19 年度以来、柏原市の文化財を指定しています。高井田山古墳出土品に始まり、平成 25 年度までに 10 件の文化財が市指定文化財となっています。このたび、これらに国、大阪府の指定文化財、国登録文化財を加えて計 39 件の文化財を紹介する『柏原市の文化財』を文化財課から刊行しました。全 56 ページ、500 円で販売しています。美しいカラー写真もたくさん掲載していますので、ぜひご覧ください。

そして、平成 26 年 5 月には、船橋遺跡出土縄文絵画土器が 11 件めの市指定文化財になりました。縄文時代晩期の土器の口縁部に、四つの絵画らしき線刻が描かれたものです。この絵画が何を語っているのか、まだ解明できていませんが、謎に迫るのは楽しいものです。平成 26 年度夏季企画展「縄文から弥生へ」は、この絵画土器をテーマにした展示でした。縄文時代から弥生時代への移り変わりを示す貴重な土器でもあります。

続いて安堂遺跡出土木簡を市指定文化財にするための準備を進めています。孝謙天皇が造営した智識寺南行宮に関わると考えられる重要な木簡 6 点です。

今後も、市指定文化財を順次増やしていきますので、柏原市の隠れた文化財に目を向けていただきたいと思います。

柏原市の文化財
(指定文化財、登録文化財編)

2014 年 3 月
柏原市教育委員会

『柏原市の文化財』

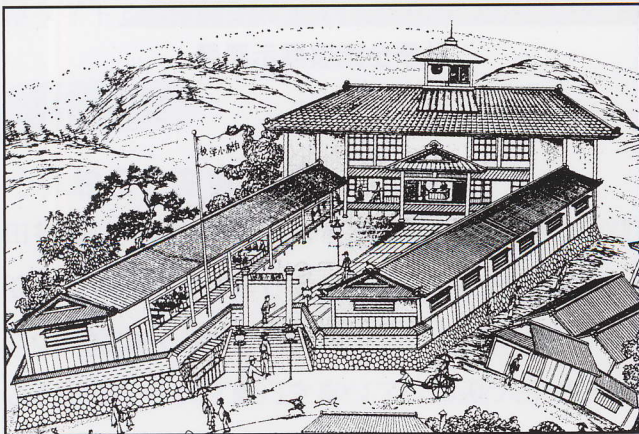
新収資料の紹介

平成 25 年度も多数の資料を寄贈していただきましたが、その中から柏原小学校旧校舎の鬼瓦を紹介したいと思います。この鬼瓦は、柏原市古町の杉本さんから寄贈いただいたものです。

もともと、明治 17 年に新築された柏原小学校の校舎に葺かれていた鬼瓦と考えられます。当時の柏原小学校は、奈良街道と大県通りの交差点の北東にありました。周辺は道路の拡幅によってずいぶん変わりましたが、現在も当時の石垣が残っていて、小学校の敷地は駐車場になっています。

下の絵は、当時の校舎を描いたものです。手前に 2 棟ある平屋建物のどちらかが後に払い下げられ、古町に移築されて借家として使用されていました。何とか保存できないかと検討していただいたのですが、傷みが激しく解体することになりました。もし解体されるなら鬼瓦をいただきたいと以前からお願いしていたところ、このたびの寄贈となりました。杉本さんのご好意に感謝したいと思います。

鬼瓦は全部で 3 点あり、1 点は棟に伴う鬼瓦で、高さ 28 cm、幅 41.5 cm。上にやや小さく右から「高等」、その下にタテに「学校」と浮き彫りされています。2 点は下り棟に伴う鬼瓦で、高さ 22 cm、幅 42 cm。上に右から「高等」、下に「学」と浮き彫りされています。高等小学校を表現した鬼瓦と考えられます。昔の柏原小学校について、この鬼瓦がいろいろな物語を聞かせてくれそうです。



明治 17 年の柏原小学校



鬼瓦

—ひとこと—

Gondola 第 11 号をお届けします。当館では、文化財課の職員が資料館の業務も行うようになり、少しずつですが資料館の事業も広がり、充実できてきたと思います。特集展示コーナーを設けることができたのも、その一つの現れです。特集展示では、「天誅組・新選組と柏原」「午・馬・ウマ」「松岳山古墳復元」など、企画展では取り上げることができないような展示に取り組みました。今後も、企画展、特集展示、スポット展示によって、柏原市にまつわるさまざまな資料、歴史を紹介していきたいと思いますので、みなさんの声もぜひお聞かせください。(Y)

柏原市立歴史資料館 休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 入館料 無料
〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL 072-976-3430